

第6学年音楽科学習指導案

1 題材 「思いや意図をもって合唱しよう」

2 教材 「この星に生まれて」(作詞・作曲 杉本竜一 編曲 鹿谷美緒子)

3 題材設定の趣旨

- 本題材「思いや意図をもって合唱しよう」は、音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現(以下、表現とする)に生かし、思いや意図をもって歌うことができるようにすることをねらいとしている。また、児童が思いや意図を実現するために、友達と話し合いながら、主体的に音楽活動をするを通して、表現の工夫をし、表現を高め合うことができるようにすることもねらいとしている。

本題材で取り組む教材「この星に生まれて」は、NHK番組『生きもの地球紀行』の主題歌であった曲で、小中学生の合唱曲として全国で広く歌われている曲である。歌詞は、「生きる力をもちつづけて」「夢をかなえよう」など、夢をもって前向きに生きていこうというメッセージが込められている。始まりは歌いやすい音域の斉唱から二部合唱へと変わり、中間部では2つのパートの旋律がそれぞれの役割をもっており、美しい和声の響きを感じ取ることができる。気分も次第に高まっていきながら、最後の部分で曲の山を迎えている。春日北小学校6年児童にとって、この曲はこれまでに何度か歌ったことがある曲で、学年全体として好きな歌に挙げられる曲である。本教材は、歌詞の内容や曲想からも、あと半年で卒業を迎える6年生のこの時期に、思いや意図をもって表現を工夫する合唱曲として、適した教材であると言える。

- 本学級は、音楽の学習に対して意欲的に取り組むことができる児童が多い。事前アンケート(33名対象)では、音楽の授業は約97%の児童が「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えている。「歌うことは好きか」という質問に対し「とても好き」「まあまあ好き」と回答した児童は約79%、「嫌い」「あまり好きではない」と回答した児童が約21%であった。好きな理由として、「歌を歌うことが楽しいから」「みんなで歌うと心が一つになる気がするから」などの回答があった。嫌いな理由としては、「歌うのが好きではないから」「下手だから」「分からないところがあるから」など、表現の方法が分からないために、歌唱の活動で自信をもって表現できないでいることがうかがえる。また、これまでに「歌い方を工夫して歌っているか」という質問に対しては、「いつもそうしている」が約21%、「ときどきそうしている」が約61%であった。「あまりしていない」「まったくしていない」は、約18%であった。

この結果から、歌うことが苦手な児童や歌うことの楽しさを感じ取ることができていない児童に対して、全体練習やパート練習、グループ練習において、一人一人の歌い方を認め、励ましの声をかけ、自分の声や歌い方に自信をもたせることができるような手立てをとる必要があると考える。また、音楽を聴き取り、感じ取りながら、音楽のよさや面白さを感じ取らせ、表現を工夫することの楽しさを味わわせることも大切であると考え。

- 本題材は、新学習指導要領の「A表現」歌唱の指導事項イの「歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと」(5・6年)を指導のねらいとして、〔共通事項〕との関連を図りながら指導を進めていく。

これまでの歌唱指導における現状は、ただ歌わせるだけの指導や教師からの一方的な指示のみで歌わせるような指導があり、児童が表現を工夫したり、思いや意図をもって歌うことができるようにする指導は十分ではなかった。そこで、音楽を形づくっている要素を手掛かりとしながら、音楽を聴き取り、感じ取ることができるような学習活動を工夫することで、児童が音楽のよさや美しさを感じ取り、思いや意図をもって表現することができるように考える。

指導にあたっては、まず、歌詞のもつリズムや言葉の抑揚に気を付けながら朗読をさせる。次に、歌詞の一つ一つの言葉の意味を理解させ、歌詞の内容からイメージを膨らませていく。また、範唱CDを聴かせて美しい二部合唱に興味をもたせ、曲想を感じ取らせる。正しい音程とリズムで歌う活動の中で、旋律や強弱など音楽を特徴付けている要素や、反復、和声の響きなどの音楽の仕組みに気付かせるような手立てを取りたい。

表現の工夫をする過程では、曲をA(始めから17小節3拍目まで)・B(17小節4拍目から25小節目まで)・C(26から最後まで)の3つの部分に分けて工夫させるようにする。表現の工夫に関しては、歌詞の内容、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みなどを手掛かりにして曲想を感じ取らせ、「こ

の曲はこんな感じがするから、こんなふうに歌いたい」という思いや意図をもって表現の工夫をさせたい。

また、児童が友達とかかわり合いながら主体的に表現の工夫をするようなグループ活動を仕組みたい。個人で考えた表現の工夫を出し合い、グループの友達と話し合いながら歌って試し、試行錯誤しながら表現の工夫を考えさせたい。表現の工夫を考える際は、音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさや美しさを感じ取り、表現の工夫にかかわる音楽用語や記号を児童なりに使いながら話し合うことができるようにしたい。グループで表現の工夫に取り組んだ成果は、学級全体で共有させ、他のグループの表現の工夫を感じ取らせ、さらに豊かな表現となるようにしたい。

4 題材の指導目標

- 音楽を形づくっている要素の働きを感じ取って、表現の工夫をし、思いや意図をもって歌唱表現することができるようにする。

5 題材の評価規準

- ア 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 (音楽への関心・意欲・態度)
- イ 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、歌詞の内容、曲想などを生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。 (音楽表現の創意工夫)
- ウ 歌詞の内容、曲想を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 (音楽表現の技能)

6 本題材で位置付ける〔共通事項〕

(ア) 音楽を特徴付けている要素、(イ) 音楽の仕組み

〔共通事項〕		本題材における具体の姿
(ア)	旋律	旋律の上行形「Dreams come true together」など
	強弱	mp f クレシェンド デクレシェンド 歌詞の内容や旋律から感じる思い
(イ)	反復	Cの部分の「Dreams come true together」のリズムや旋律の繰り返しなど
	音楽の縦と横の関係	Bの部分の主旋律「雲は～」と副次的な旋律「ルル～」のかかわりなど

7 題材の指導計画と評価規準 (全8時間)

次	学習内容及び学習活動	時間	教師の指導・支援	評価規準と評価方法
1	1 既習曲を歌い、発声フォームについて確認する。 2 「この星に生まれて」を歌い、曲の感じをつかむ。	1 ・ 2 ・ 3	○ 姿勢・口の形・声・顔の表情などの発声フォームを確認し、できている児童をほめて全体にも広がるようにする。 はげまし色カード・・・オレンジ (口の開け方) 水色(姿勢) ピンク(顔の表情) ○ 歌詞を朗読し、歌詞の内容を理解させ、イメージをもたせる。 ○ 範唱CDを聴かせ、美しい二部合唱へのあこがれの気持ちをもたせる。 ○ ワークシートに曲の好きなどところを書かせ、歌詞の内容や旋律の盛り上がりなど、音楽を形づくっている要素と関連付けて歌わせる。 ○ リズム、旋律、反復などの音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みに着目するような音楽遊びを取り入れて「この星に生まれて」と結び付けて考えさせる。	・歌詞の内容を理解して楽しんで歌っている。 (評価規準ア) 【活動の観察・ワークシート】

	<p>3 「この星に生まれて」を正しい音程とリズムで歌えるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに自分のパートを決めさせてオルガンで音をとりながら音程とリズムに気を付けてパート練習をさせる。 ○ 全体練習，パート練習，グループ練習を組み合わせて，自分のパートを正しい音程とリズムで歌うことができるようにする。 ○ 「この星に生まれて」をどんな思いで歌いたいかワークシートに書かせ，思いや意図をもって表現の工夫をすることを告げる。 ○ 表現の工夫に生かすことができるように歌声の録音をしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的にパート練習に取り組んでいる。 (評価規準ア) <li style="text-align: right;">【活動の観察】 ・自分のパートの音程やリズムを正しく歌うことができる。 (評価規準ウ) <li style="text-align: right;">【活動の観察】
<p>2</p>	<p>1 「この星に生まれて」のAの部分の表現の工夫をする。</p>	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな思いを込めて歌うのか一人一人の意見を取り上げながら，学級の思いをまとめる。 ○ Aの部分は，一斉指導の中で教師が中心となって表現の工夫をする。 ○ 音楽を形づくっている要素を手掛かりにして表現を工夫することができることに気付かせ，その面白さを感じさせるようにする。 ○ 表現の工夫を付せんに書き表す方法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の工夫をする活動に興味をもって取り組んでいる。 (評価規準ア) <li style="text-align: right;">【活動の観察・ワークシート】
	<p>1 「この星に生まれて」のCの部分の表現の工夫をする。</p> <p>2 グループの発表を聴いて意見交換をする活動を通して，自分の表現の工夫を考える。</p>	<p>5 ・ 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Cの部分は，グループの友達と一緒に歌って試しながら表現の工夫をすることを知らせる。 ○ どんな思いで歌いたいか，どのように歌いたいか，自分の考えを付せんに書かせ自分の考えをまとめさせる。 ○ グループで，どんな思いでどのように歌いたいかを出し合い，拡大楽譜に付せんに貼らせて，お互いの思いを共有させる。 ○ 表現の工夫をする際に，歌詞の内容や音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを手掛かりに工夫するとよいことを確認する。 ○ グループで歌って試しながら思いや意図をもって表現の工夫をさせる。 ○ グループごとの思いや意図，工夫した根拠などを説明して発表させる。 ○ 友達の発表のよさを見つれたり，自分たちの表現の工夫と比べたりしながら聴かせる。 ○ 活動を通して自分が考えた表現の工夫をワークシートにまとめるよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容，曲想を生かした表現を工夫し，どのように歌うかについて自分の考えや願い，意図をもっている。 (評価規準イ) <li style="text-align: right;">【発言内容・ワークシート】
	<p>1 「この星に生まれて」のBの部分の表現の工夫をする。</p>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Bの部分も，グループの友達と一緒に歌って試しながら表現の工夫をすることを知らせる。 ○ どんな思いで歌いたいか，どのように歌いたいか，自分の考えを付せんに書かせ，自分の考えをまとめさせる。 ○ グループで，どんな思いでどのように歌いたいかを出し合い，拡大楽譜に付せんに貼らせて，お互いの思いを共有させる。 ○ 表現の工夫をする際に，歌詞の内容や音楽 	

	2 グループの発表を聴いて意見交換をする活動を通して、自分の表現の工夫を考える。	本時	<ul style="list-style-type: none"> ○ を特徴付けている要素や音楽の仕組みを手掛かりに工夫するとよいことを確認する。 ○ グループで歌って試しながら思いや意図をもって表現の工夫をさせる。 ○ グループの発表を聴かせ、どんな工夫をしているか考えさせながら聴かせる。 ○ 友達の発表のよさを見つけたり、自分たちの表現の工夫と比べたりしたことを発言させる。 ○ 活動を通して自分が考えた表現の工夫をワークシートにまとめるよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。 <p>(評価規準イ)</p> <p>【発言内容・ワークシート】</p>
3	1 合唱の仕上げをする。 2 卒業式までの見通しをもつ。	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで表現の工夫をしたことを生かして歌って試し、曲全体のまとまりを確かめる。 ○ 録音して3時間目に録音した歌声と比べ、表現の工夫ができたことを確認させる。 ○ 今後の合唱への意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表現の工夫をして、思いや意図をもって表情豊かに歌うことができる。 <p>(評価規準ウ)</p> <p>【活動の観察】</p>

8 本時の学習 (7/8)

(1) 指導目標

- 「この星に生まれて」のBの部分をグループの友達と歌って試しながら、表現を工夫し、思いや意図をもって歌唱表現することができるようにする。

(2) 具体的評価規準

- 歌詞の内容、曲想などを生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。
- (音楽表現の創意工夫)

(3) 指導過程

過程	学習活動	教師の指導・支援	評価規準と評価方法
導入	1 「この星に生まれて」を二部合唱する。 2 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢や口の開け方、顔の表情に気を付けて歌っている友達を紹介し、「はげまし色カード」を渡し、意欲をもたせる。 水色・・・姿勢 オレンジ・・・口の開け方 ピンク・・・顔の表情 ○ Cの部分の表現の工夫を振り返り、手掛かりとした音楽を形づくっている要素について確認する。 ○ Bの部分の表現の工夫をして、聴き手に伝わるように表現をすることを確認する。 	
	グループの友達と協力して、「この星に生まれて」のBの部分の表現を工夫しよう。		
展	3 「この星に生まれて」のBの部分の表現の工夫をする。 (1) Bの部分の旋律を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれのパートの音程やリズム、ブレスやクレシェンドを確認する。 ○ 旋律や音楽の縦と横の関係についてBの部分の楽譜を見ながら確認する。 	

開	<p>(2) Bの部分の表現の工夫について考える。</p> <p>手掛かりにさせたい〔共通事項〕</p> <p>(ア) 強弱 旋律 (イ) 音楽の縦と横の関係</p> <p>(3) 表現の工夫を生かして歌うことができるよう、グループで練習する。</p> <p>4 いくつかのグループの発表を聴き、交流をする。</p> <p>5 表現の工夫を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽を特徴付けている要素や仕組みを手掛かりに表現の工夫をし、友達と協力して、歌って試しながら表現を工夫することを確認する。 ○ 表現の工夫をするときや発言するときに使えるように、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを掲示しておく。 ○ 自分の表現の工夫を書いた付せんを、グループの拡大楽譜にはって説明させる。 ○ 友達と話し合いながら、グループの表現の工夫を決め、拡大楽譜に書き込むように助言する。 ○ 話し合いがうまくいっていないグループには、旋律や音楽の縦と横の関係についてなど、主な要素について気付くよう助言する。 ○ グループ練習の中で、歌って試しながら表現の工夫をまとめていくことを告げる。 ○ 発表するグループは、音楽を形づくっている要素を手掛かりに表現を工夫したところが伝わるよう歌唱表現させる。 ○ 聴く側は、友達の発表の表現の工夫を見付けたり、自分たちの表現の工夫と比べたりしながら聴かせる。 ○ 音楽を特徴付けている要素や仕組みに気付いた児童をほめ、全体で共有する。 ○ 自分たちの表現の工夫と友達の表現の工夫を比べ、自分は、どう歌いたいのかをワークシートに記述するよう指示する。 	<p>・ Bの部分の表現の工夫、自分の考えや願い、意図をワークシートに記述している。</p> <p>(評価規準イ) 【ワークシート】</p>
まとめ	<p>6 表現の工夫を振り返り、全体を通して「この星に生まれて」を二部合唱する。</p> <p>7 次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートに書いた表現の工夫を生かして、自分の思いや意図をもって歌うことを告げる。 ○ 次時の活動への意欲がもてるように、次時は全体で歌い、録音することを告げる。 	